

安全表示で 人づくり

ビーポップを活用した安全活動事例

第15回

新幹線エンジニアリング株式会社(大阪支社)

会社概要

●所在地 本社:東京都中央区 大阪支社:大阪府摂津市 ●設立:1985年
●従業員数:428人(2021年4月1日現在) ●主な事業内容:東海道新幹線の客室及び台車の検査・修繕など

事業所中の各所に「止める!呼ぶ!待つ!」の表示。日頃から安全意識を染み込ませる

新幹線エンジニアリング(株)(以下、SEK)は、日本が世界に誇る東海道新幹線を技術で支えるエンジニア集団です。昭和60年の会社発足当初から東海道新幹線車両のメンテナンス業務を受託しており、車両のメンテナンスという立場からJR東海と共に東海道新幹線の安全、安定、快適な輸送を支え続けています。SEKが実施するメンテナンスは単なる点検整備というだけでなく、その結果を車両設計にフィードバックして新幹線車両に関する技術を向上させるという重要な意味も併せ持っています。

SEKでは現在、①運転事故防止労働災害防止、②改善活動の推進、③人材育成の3つを柱に安全・安定輸送へ取り組んでいるといいます。そこで今回は、大阪府摂津市の鳥飼車両基地内にあり、客室内及び台車の検査・修繕などを行っているSEK大阪支社にお伺いして、特に労働災害防止における安全表示の役割について、総務部の毛利さんと中川さん、実際にビーポップを使って安全表示を作成している藤本さんにお話を伺いました。

「One STEP」SE活動を通して守られやすいルール作りを推進

SEK大阪支社では現在、労働災害の根絶に向けた取り組みとして、ルールの遵守、基本動作の徹底及び声かけ・応答の定着等により安全最優先の文化を醸成することを目指しています。また、今年から「One STEP」SE活動と名付けた運動を展開しているそうです。

「安全に限らず改善活動も含め、社員一人一人が参加しながら『もう一歩先の安全性の向上と業務改善を進めよう』という取り組みです。4つある職場から5、6人ずつ選ばれたメンバーを中心に支社全体の労働災害防止について話し合います」と、自身もメンバーである中川さんが、メンバーに明確な基準はありませんが、若手も交えながら幅広い世代でバランスの良い構成を目指しているといいます。そしてこのメンバーで取り組んでいることのひとつに「ルールの棚卸しサイクル」があると語るのは毛利さん。「車両はほとんど新しくなり、検査・修繕設備も変化していきます。今あるルールの改善点を探したり、新たに発生するルールを『より守られやすいルール』として定着させるための方法を探す、といった活動が重要です。これはJR東海グループで行っている取り組みの一端で、新幹線関係の職場で重点的に取り組んでいます」。

安全表示に関する話し合いはビーポップの導入でさらに活性化

安全表示に関して、「元々各職場でワイワイと話し合う社風です」と語るのは藤本さん。そして、「他社ラベルやパウチだったものが、いろんな機能が付いているビーポップが導入されたことでよりアイデアの幅が広がり、楽しく作成できるようになりました。文字だけの注意喚起よりも、やはり写真があるとより気にかけてもらえる」とも。



※撮影のために十分な感染症対策を行った上で一時的にマスクを外していただきました

大阪支社のみなさん。「安全綱領」を表示している大画面モニターには、毎朝の点検時に、危険なポイントを動画で流し、KY活動に活用している。

のあらゆるところに、ビーポップによる『設備異常時は「止める!呼ぶ!待つ!」』の表示があります。これはJR東海の台車検査車両所と共に実施している取り組みで、日頃から安全最優先の意識を染み込ませるという目的があるといいます。

「何かあったとき、とつさに安全最優先の行動を取れるかどうかのカギになります。しかし無意識のうちに正しい行動を取ることは意外と難しいものです。目指すところは作業に潜む危険を予知し、異常時も含めあらゆる場面で安全最優先の行動を取れるようにすること。そのために安全表示も工夫していきたいですね」と毛利さん。「道程は長いと思いますが、一歩一歩ひとつずつ進めていければ」と、無災害へ向けて着実に歩み固い決意を語って下さいました。



大阪支社内の至るところに貼られている『設備異常時は「止める!呼ぶ!待つ!」』の表示。見やすいところに数多く貼ることで、JR東海と一緒に取り組んでいる「安全最優先」の意識を定着させることを図った。

お問い合わせ

マックス株式会社

オフィスプロダクツ営業部

安全表示・人づくりコンテスト事務局

人づくりコンテスト

検索

TEL:03-3669-8108(代) Mail:anzen@max-ltd.co.jp